

湖畔の風

★ 各地区で敬老会

9月は各地区で敬老会が開催されました。

花巻市、社会福祉協議会、市議等の来賓を迎え、各地区それぞれ、東和温泉、銀河パークはなまきにおいてお祝いの会が催されました。

小倉地区該当者55名 新加入4名 百寿（朝倉智子さん）米寿（曾我一美さん、渡辺智磨子さん）
 中通地区該当者22名 新加入2名 百寿（佐藤雪子さん）
 白土地区該当者45名 新加入4名 米寿（多田房子さん、多田勇子さん、菅谷ミキさん）

小倉地区敬老会
9月7日 東和温泉



祝米寿 渡辺智磨子さん
記念品贈呈



中通地区敬老会
9月12日 銀河パークはなまき



祝百寿 佐藤雪子さん
代理で菊池厚子さんに
記念品贈呈



白土地区敬老会
9月7日 銀河パークはなまき



★ Eボート大会においてスリーメンズ第3位

9月7日（日）一関市川崎において開催された、第31回北上川流域交流Eボート大会において「スリーメンズ」が第3位という成績を収めました。

この日の「スリーメンズ」は、田瀬地区合同チームで参加しました。

大会には、県内各地より40チームが参加し競技を行いました。4チームごとに予選レースを行い、上位5チームで決勝のレースが行われました。2位チームとは最後までデットヒートのすえ、昨年を上回り、3位となりました。大変、素晴らしい結果を残しました。

来年は優勝できるよう、頑張ります。



県内各地より40チームが参加



★ ドローン講習会

9月6日(土)振興センターを会場としてドローン講習会が開催されました。この講習会は花巻市農林部農村林務課主催、「里山講習スモールフォレスト・カレッジ」全15回の一部です。この講習には、市内外より約30名が受講されていますが、田瀬で開催ということで地元から5名参加させていただきました。

午前中はビデオなどの講習が行われ、午後からは実際にドローンを飛ばす講習でした。全員が、実際に操作の体験をしました。

ドローンの種類にはトイ(おもちゃ)ドローン、カメラドローン、産業用ドローン、レースドローンなどありますが、今回の講習は、写真や映像を撮るドローンを使いました。機体の直径は約50cm、重さ約1kgなので、簡単にもち運びできます。映像を見ながら操作できて、少し練習すれば出来そうでした。ちなみに、目視できる範囲を飛ばすなら資格はいらないそうです。



ドローンとは雄バチの意味
「ブーン」と飛び立ちました



今回の使ったドローン



きれいな映像が撮れていました

異聞 田瀬の歴史 第41回



スサノオノミコト

《お天王さまについて》

11ヶ月に渡って今はない田瀬小学校、田瀬中学校のはつらつとした輝かしい子ども達の「田瀬の歴史」の一コマを連載してきました。

今回から再び「異聞・田瀬の歴史」の掲載に戻ります。初めは、京都の祇園祭とも関係ある田瀬の歴史です。

京都・祇園祭の基となった

『田瀬の歴史』によれば、田瀬に「おてんのうさま」という神社が二つ存在しています。

一つは中通にあり、

場所 田瀬 15 区

祭神 お伊勢様、天王社合祀

棟札 塚長根神社止鎮（錫）賜処

奉納剣有り

祭日 旧 6 月 15 日

と記載されていますが、社号額は「天王社」と「祇園天王社」。以前に伊勢神社と天王社が合祀され、別当だった人は田瀬ダム建設による用地収用により田瀬を離れ、今はだれもまもる人がいません。堂宇は存在し若干の器物もみられます。

もう一つは、白土にあります。

場所 田瀬 20 区

祭神 五大明王と牛頭天王（ござてんのう）（註①）

棟札 牛頭天王村中万病退散子孫繁栄祈攸

雷神像有り

舟田地区の信徒が平成 6 年に熊野山を合祀しました。戦後、各地で行われたように、中通りも伊勢神社と天王社が、舟田は熊野山が合祀されました。伊勢神社や熊野山は分かりますが、お天王さまとは何でしょうか。

天王社は牛頭天王を祭神とする神社ですが、牛頭天王は仏教でいう鬼神で日本のスサノオノミコトと同一視される神仏習合の思想に基づきます。仏教では牛頭天王はお釈迦さまの時代にインドの祇園精舎を守った守護神だとしています。

その為、京都の祇園の八坂神社（註②）の祭神とされ、各地の八坂神社系統の神社が天王社と呼ばれたりしています。このことから「おてんのうさま」は牛頭天王を祭神とする神社であることがわかります。

その神格は疫病を退ける力があるといわれ、薬師信仰にも通じるものがありました。

中通
お天王
さま



白土
お天王
さま



註①：『祇園牛頭天王ご縁起』によれば「蘇愍祭」発祥にも関係する記述がありますが、祇園精舎との関係のみ記します。インドのウッタール・プラデーシュ州にある釈迦が説法をした遺跡・祇園精舎。お釈迦さまの居室跡や説教をした跡で、レンガづくりの基壇が保存されています。歴史公園に指定され、日本人を始め多くの観光客が来ます。

また、『平家物語』の一節「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。」で知られています。作者は不明ですが、源平の栄枯盛衰の表現を強調するために書いた物語です。当時、鐘はありませんでした。近年、日本の団体が寄付したという鐘楼が、入口の向かいに造られています。

註②：八坂神社。京都市東山区にあり、その分社は全国各地にあります。京都に平安京が遷都（794 年）、街中に疫病が流行し世が乱れていた時、八坂神社の別当の枕元に牛頭天王が現れ、人々を救いたいが降臨する場所として神社を貸して欲しいと告げました。別当は直ぐに帝（みかど）に相談したところ、偶然にも帝も同じ夢を見た牛頭天王の降臨を許しました。まもなく町中の疫病は衰退しました。これを祝って京都の「祇園祭」が始まったといわれています。明治維新後の神仏分離令により、八坂神社の祭神はスサノオノミコトとされています。

お知らせ！

9月25日(木)第2回みのりまつり実行委員会が開催されました。みのりまつり開催日時と内容について話し合われました。

キノコなどの生育が遅れている現状で、開催に向けて準備を行っていますが、開催日等についての決定は10月3日(金)としております。

開催日が確定しましたら、地区内の皆さんには区長さんを通じてチラシを配布する予定ですので、よろしくお願いいたします。

今回はアトラクションとして清流田瀬こども太鼓の演奏、もちの振る舞い。農産物、きのこ類などの販売、クラフト製品の販売。飲食コーナーは松茸ご飯、カレーライス、ピザ、アユの塩焼きやホタテ焼きなどを予定しております。昨年好評だった『なめこすくい』、小倉地区で焼いた『炭の詰め放題』など楽しいイベントも準備しておりますので、開催の折にはご家族そろってお出かけください。



田瀬のみのりまつり実行委員会
田瀬地域コミュニティ会議

10月の行事予定

- ・田瀬のみのりまつり
- ・さわやかウォーキング

11月の行事予定

- ・世代間交流モルック大会

都合により変更になることもありますのでご了承ください。



編集後記

今回より、「田瀬地区の人口」の前月比の表示が変わりました。世帯数の前月比も記載しています。参考までに10年前、平成27年8月末現在の田瀬地区の人口ですが、世帯数177戸、人口500人。この10年でもずいぶん、人口減少が進んでいます。人口減少を止めるために何ができるか、考えて行かなければなりません。



田瀬地区の人口 —令和7年8月末現在— (前月比)

行政区	世帯数	人数		
		男	女	計
田瀬第1	64(-1)	76(1)	84(-1)	160
田瀬第2	27	31	29	60
田瀬第3	67(-1)	64(-2)	78	142(-2)
計	160(-2)	171(-1)	191(-1)	362(-2)

花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。



すべてのお問合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで